

静岡県 の 財政状況

令和元年10月

静岡県



目 次

		[説明資料関連ページ]	
<“ふじのくに”の概況>	静岡県の人口・経済及び産業の状況	1	(5)
	静岡県に関する各種指標統計	2	(5)
<県政ビジョン>	平成30年度富士山静岡空港 就航先・搭乗率の状況	3	(16)
<静岡県の財政状況>	平成30年度一般会計 歳入決算の状況	4	
	令和元年度一般会計 歳入予算の状況	5	
	一般会計 歳入決算の推移	6	(24)
	一般会計 歳入(県税)決算の推移	7	(25)
	平成30年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況	8	
	平成30年度一般会計 歳出(款別)決算の状況	9	
	令和元年度一般会計 歳出(分析別)予算の状況	10	(26)
	令和元年度一般会計 歳出(款別)予算の状況	11	
	一般会計 歳出決算の推移	12	(26)
	(参考)一般会計 歳出予算(最終)の推移	13	
	平成30年度 特別会計決算の状況	14	
	平成30年度 公営事業会計決算の状況(収益的収支)	15	(28)
	平成30年度 公営事業会計決算の状況(資本的収支)	16	(28)
	地方公社の状況	17-18	
	外郭団体の状況	19-20	
	今後の財政運営	21-24	(29)
	財政関係指標の推移(普通会計)	25-27	(27)
	財務諸表	28-34	
	県債残高の推移(一般会計、特別会計及び企業会計)	35	(31)
<静岡県の起債運営>	財政課所管基金の年度末残高の推移	36	
	減債基金への積立ての状況	37	(31)
	プライマリーバランスの推移	38	
	静岡県公募公債の発行状況	39	(33)

静岡県の人口・経済及び産業の状況

○静岡県の人口及び全国順位の推移

(単位：千人、%)

項目	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
静岡県人口数(A)	3,793	3,783	3,765	3,749	3,735	3,723	3,705	3,700	3,688	3,675	3,659
全国順位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
全国人口(B)	128,084	128,032	128,056	127,799	127,515	127,298	127,083	127,110	126,933	126,706	126,443
本県シェア(A/B)	2.96	2.95	2.94	2.93	2.93	2.92	2.92	2.91	2.91	2.90	2.89

※各年度10月1日現在の推計人口(総務省統計局データ)による(平成17、22年度は国勢調査数値、27年度は国勢調査速報値)。

○静岡県の県内総生産及び一人当たり県民所得の推移

項目	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
県内総生産(百万円)	17,267,761	16,050,800	16,389,652	16,421,453	16,322,934	16,730,907	16,567,762	17,292,439	17,044,389	15,411,485	公表時期未定
全国順位	10	10	10	10	10	10	10	10	-	-	-
一人当たり県民所得(千円)	3,152	2,867	3,039	3,083	3,061	3,201	3,209	3,316	3,300	3,273	公表時期未定
全国順位	4	8	7	7	6	5	6	6	-	-	-

※平成27年度までの数値は、平成23年基準「平成27年度県民経済計算について(内閣府 経済社会総合研究所)」による。

※平成28年度の数値は、平成23年基準「平成28年度静岡県の県民経済計算」による。

※平成29年度の数値は、平成17年基準「平成29年度静岡県の県民経済計算(速報)」による。

○静岡県の製造品出荷額の推移

(単位：億円、%)

項目	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
静岡県製造品出荷額	191,777	150,510	157,931	143,915	157,077	156,991	160,507	164,125	161,322	167,871	-
全国順位	3	2	3	4	4	4	4	4	3	4	-
全国製造品出荷額	3,355,788	2,652,590	2,891,077	2,765,616	2,887,276	2,920,921	3,051,400	3,139,360	3,021,852	3,191,667	-
本県シェア	5.7	5.7	5.5	5.2	5.4	5.4	5.3	5.2	5.3	5.3	-

※各年度の数値は経済産業省公表の「工業統計表産業編(概要版)」による。

- 1 -

静岡県に関する各種指標統計

区分	項目	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
県勢基本	静岡県人口数(千人)	3,705	3,700	3,688	3,675	3,659
	全国順位	10	10	10	10	10
	合計特殊出生率	1.50	1.54	1.55	1.52	1.50
	全国順位	18	21	19	23	26
経済産業	県内総生産(億円)	165,678	172,924	170,444	154,115 速報値	公表時期未定
	全国順位	10	10	-	-	-
	製造品出荷額等(億円)	160,507	164,125	161,322	167,871	公表時期未定
	全国順位	4	4	3	4	-
	実質経済成長率(%)	-2.8	2.3	0.9	-	-
	全国数値(%)	-0.4	1.3	0.9	-	-
	医薬品生産額(億円)	4,835	4,551	5,487	6,820	6,721
	全国順位	4	5	4	1	1
	医療機器生産額(億円)	3,865	3,700	3,466	3,513	3,587
	全国順位	1	1	1	1	1
	化粧品生産額(億円)	1,517	1,381	1,645	1,689	1,776
	全国順位	3	5	3	3	3
	農業産出額(億円)	2,154	2,204	2,266	2,263	公表時期未定
	全国順位	15	15	15	15	-
海面漁業・養殖業産出額(億円)	532	582	568	604	公表時期未定	
全国順位	6	6	7	7	-	
ホテル・旅館数	3,233	3,146	3,073	3,004	2,928	
全国順位	1	1	1	1	(※2、11月公表予定)	

区分	項目	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
経済産業	企業立地件数	53	55	74	97	67
	全国順位	3	4	1	1	4
	有効求人倍率	1.10	1.21	1.39	1.58	1.68
	全国数値	1.11	1.23	1.39	1.54	1.62
	完全失業率(%)	2.8	2.7	2.5	2.3	1.9
	全国数値	3.6	3.4	3.1	2.8	2.4
教育	大学・短大学生数(人)	38,162	38,229	38,393	38,423	38,648
	全国順位	16	15	15	15	15
	大学・短大等進学率(%)	53.1	53.9	53.1	52.9	53.0
	全国順位	17	17	17	18	19
・くらし環境	図書館数	97	98	98	98	97
	全国順位	-	-	-	-	-
健康福祉	エコアクション21認証登録事業者数(件)	935	960	991	1,001	1,019
	全国順位	1	1	1	1	1
	医療費(千円)(1人当たり)	290	301	301	310	(※元、10月公表予定)
	全国順位(昇順)	8	8	8	9	-
	1日平均在院・外来患者数(人)(10万人当たり)	1,461	1,451	1,659	1,492	(※元、10月公表予定)
	全国順位(昇順)	3	4	4	4	-
行政	生活保護率(%)	8.2	8.3	8.4	8.5	8.5
	全国順位(昇順)	9	9	9	9	10
	市町村への権限移譲対象法律数	126	126	128	125	125
全国順位	1	1	1	1	1	

- 2 -

平成30年度 富士山静岡空港 就航先・搭乗率の状況

路線		提供座席数(席)	搭乗者数(人)	搭乗率(%)	
国内線	新千歳線	ANA	119,022	71,902	60.4
	丘珠線	FDA	34,672	23,597	68.1
	出雲線	FDA	55,304	38,867	70.3
	福岡線	FDA	238,916	160,407	67.1
	北九州線	FDA(H31.3.31から)	168	158	94.0
	鹿児島線	FDA	59,840	41,220	68.9
	沖縄線	ANA	118,026	81,695	69.2
	チャーター便		9,644	7,605	78.9
	国内線計		635,592	425,451	66.9
国際線	ソウル線	エアソウル	77,562	68,631	88.5
	上海線	中国東方航空	123,611	89,667	72.5
	寧波線	中国東方航空	32,136	25,845	80.4
	杭州線		69,456	61,133	88.0
		北京首都航空	36,648	32,754	89.4
		中国東方航空	32,808	28,379	86.5
	煙台線	中国聯合航空	15,480	9,764	63.1
	台北線	チャイナエアライン	37,265	29,958	80.4
	チャーター便		5,126	3,790	73.9
国際線計		360,636	288,788	80.1	
合計		996,228	714,239	71.7	

※欠航便、ダイバート便(他空港への降客)、引き返し便を除く

■ 年度別搭乗者数

(単位:千人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
国内線	352	316	266	251	293	305	309	335	375	425
国際線	176	239	146	196	166	244	390	276	295	289
合計	528	555	412	447	459	549	699	611	670	714

平成30年度一般会計 歳入決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成30年度 決算	平成29年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成30年度	平成29年度
歳入決算額	1,192,478	1,227,774	△ 35,296	△ 2.9	100.0	100.0
県税	483,850	498,981	△ 15,131	△ 3.0	40.6	40.6
地方消費税清算金	144,158	139,798	4,360	3.1	12.1	11.4
地方譲与税	64,370	57,242	7,128	12.5	5.4	4.6
地方特例交付金	1,711	1,496	215	14.4	0.1	0.1
地方交付税	146,970	145,634	1,336	0.9	12.3	11.9
交通安全対策特別交付金	1,133	1,203	△ 70	△ 5.8	0.1	0.1
分担金及び負担金	3,678	3,626	52	1.4	0.3	0.3
使用料及び手数料	16,558	16,860	△ 302	△ 1.8	1.4	1.4
国庫支出金	107,764	113,361	△ 5,597	△ 4.9	9.0	9.2
財産収入	2,691	1,848	843	45.6	0.2	0.2
寄附金	115	140	△ 25	△ 17.9	0.0	0.0
繰入金	16,550	30,879	△ 14,329	△ 46.4	1.4	2.5
繰越金	12,869	14,072	△ 1,203	△ 8.5	1.1	1.1
諸収入	25,179	22,737	2,442	10.7	2.1	1.9
県債	164,882	179,897	△ 15,015	△ 8.3	13.8	14.7

令和元年度一般会計 歳入予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	令和元年度 当初予算	平成30年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比		
					令和元年度	平成30年度	
歳 出 規 模	1,206,600	1,187,200	19,400	1.6	100.0	100.0	
一 般 財 源 等	県税	482,000	483,000	△ 1,000	△ 0.2	39.9	40.7
	地方消費税清算金	138,614	143,751	△ 5,137	△ 3.6	11.5	12.1
	地方譲与税	65,800	60,700	5,100	8.4	5.4	5.1
	地方特例交付金	5,011	1,740	3,271	188.0	0.4	0.2
	地方交付税	141,000	140,500	500	0.4	11.7	11.8
	臨時財政対策債	62,500	76,000	△ 13,500	△ 17.8	5.2	6.4
	その他	28,558	25,690	2,868	11.2	2.4	2.2
	計	923,483	931,381	△ 7,898	△ 0.8	76.5	78.5
特 定 財 源	国庫支出金	125,293	114,711	10,582	9.2	10.4	9.7
	県債	89,253	71,509	17,744	24.8	7.4	6.0
	繰入金	33,432	33,679	△ 247	△ 0.7	2.8	2.8
	その他	35,139	35,920	△ 781	△ 2.2	2.9	3.0
	計	283,117	255,819	27,298	10.7	23.5	21.5

- 5 -

一般会計 歳入決算の推移

(単位:億円・%)

区 分	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
県税	4,565	4,882	5,669	5,412	4,178	4,017	3,979	4,063	4,232	4,478	4,883	4,903	4,990	4,838	4,820
構成比	40.3	43.0	49.6	47.3	34.4	34.4	34.6	35.2	35.9	37.4	39.8	40.3	40.6	40.6	39.9
地方交付税	1,691	1,442	1,280	1,161	1,484	1,683	1,640	1,647	1,555	1,556	1,515	1,594	1,456	1,470	1,410
構成比	14.9	12.7	11.2	10.1	12.2	14.4	14.3	14.3	13.2	13.0	12.4	13.1	11.9	12.3	11.7
国庫支出金	1,543	1,274	1,177	1,301	2,020	1,493	1,365	1,311	1,455	1,289	1,270	1,260	1,134	1,078	1,253
構成比	13.6	11.2	10.3	11.4	16.6	12.8	11.9	11.4	12.3	10.8	10.4	10.4	9.2	9.0	10.4
県債	1,348	1,254	1,425	1,837	2,340	2,197	1,952	2,051	1,989	1,859	1,456	1,472	1,799	1,649	1,518
通常債	945	890	1,096	1,437	1,506	657	716	781	692	619	580	656	962	855	845
特例債	403	364	329	400	809	1,518	1,221	1,259	1,284	1,211	838	750	743	751	625
病院債	—	—	—	—	25	22	15	11	13	29	38	66	94	43	48
構成比	11.9	11.1	12.5	16.1	19.3	18.8	17.0	17.8	16.8	15.5	11.8	12.1	14.7	13.8	12.6
その他	2,179	2,490	1,877	1,724	2,124	2,295	2,562	2,456	2,573	2,785	3,149	2,931	2,899	2,890	3,065
構成比	19.3	22.0	16.4	15.1	17.5	19.6	22.2	21.3	21.8	23.3	25.6	24.1	23.6	24.2	25.4
計	11,326	11,342	11,428	11,435	12,146	11,685	11,498	11,528	11,804	11,967	12,273	12,160	12,278	11,925	12,066

※令和元年度は当初予算

※県債のうち「特例債」は、臨時財政対策債、NTT無利子貸付金

- 6 -

一般会計 歳入(県税)決算の推移

(単位:億円・%)

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
個人県民税	724	812	1,460	1,510	1,492	1,344	1,324	1,371	1,468	1,484	1,494	1,451	1,502	1,241	1,201
構成比	15.9	16.6	25.8	27.9	35.7	33.5	33.3	33.7	34.7	33.1	30.6	29.6	30.1	25.7	24.9
法人二税	1,818	2,046	2,184	1,988	885	893	913	953	1,049	1,257	1,280	1,371	1,378	1,485	1,485
構成比	39.8	41.9	38.5	36.7	21.2	22.2	22.9	23.5	24.8	28.1	26.2	28.0	27.6	30.7	30.8
その他	2,023	2,024	2,025	1,914	1,801	1,780	1,742	1,739	1,715	1,737	2,109	2,081	2,110	2,112	2,134
構成比	44.3	41.5	35.7	35.4	43.1	44.3	43.8	42.8	40.5	38.8	43.2	42.4	42.3	43.6	44.3
計	4,565	4,882	5,669	5,412	4,178	4,017	3,979	4,063	4,232	4,478	4,883	4,903	4,990	4,838	4,820

(参考)

地方法人特別譲与税	-	-	-	-	195	431	463	478	579	698	630	527	546	617	629
合計	4,565	4,882	5,669	5,412	4,373	4,448	4,442	4,541	4,811	5,176	5,513	5,430	5,536	5,455	5,449

※令和元年度は当初予算

- 7 -

平成30年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区分	平成30年度決算	平成29年度決算	比較	伸率	構成比		
					平成30年度	平成29年度	
歳出決算額	1,179,482	1,214,905	△ 35,423	△ 2.9	100.0	100.0	
義務的経費	人件費	300,477	300,597	△ 120	△ 0.0	25.5	24.7
	扶助費	114,678	110,056	4,622	4.2	9.7	9.1
	公債費	184,169	184,928	△ 759	△ 0.4	15.6	15.2
	災害復旧費	3,138	1,135	2,003	176.5	0.3	0.1
	計	602,462	596,716	5,746	1.0	51.1	49.1
義務的経費以外	投資的経費	176,211	172,879	3,332	1.9	14.9	14.2
	公共・直轄	95,580	92,196	3,384	3.7	8.1	7.6
	単独等	80,631	80,683	△ 52	△ 0.1	6.8	6.6
	その他の経費	400,809	445,310	△ 44,501	△ 10.0	34.0	36.7
	計	577,020	618,189	△ 41,169	△ 6.7	48.9	50.9

- 8 -

平成30年度一般会計 歳出(款別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成30年度 決算	平成29年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成30年度	平成29年度
議会費	1,894	1,898	△ 4	△ 0.2	0.2	0.1
知事直轄組織費	13,629	-	13,629	皆増	1.2	-
危機管理費	9,785	6,331	3,454	54.6	0.8	0.5
経営管理費	30,023	58,922	△ 28,899	△ 49.0	2.5	4.8
くらし・環境費	8,509	9,279	△ 770	△ 8.3	0.7	0.8
文化・観光費	16,517	14,983	1,534	10.2	1.4	1.2
健康福祉費	223,900	230,447	△ 6,547	△ 2.8	19.0	19.0
経済産業費	66,366	48,566	17,800	36.7	5.6	4.0
交通基盤費	115,219	129,683	△ 14,464	△ 11.2	9.8	10.7
警察費	79,429	77,372	2,057	2.7	6.7	6.4
教育費	239,447	241,257	△ 1,810	△ 0.8	20.3	19.9
災害対策費	3,279	1,252	2,027	161.9	0.3	0.1
公債費	184,169	184,928	△ 759	△ 0.4	15.6	15.2
諸支出金	187,316	209,987	△ 22,671	△ 10.8	15.9	17.3
計	1,179,482	1,214,905	△ 35,423	△ 2.9	100.0	100.0

- 9 -

令和元年度一般会計 歳出(分析別)予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	令和元年度 当初予算	平成30年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比		
					令和元年度	平成30年度	
歳 出 総 額	1,206,600	1,187,200 (1,212,210)	19,400 -(1,212,210)	1.6 -(100.0)	100.0 -	100.0 -	
義 務 的 経 費	人件費	301,310	301,490	△ 180	△ 0.1	25.0	25.4
	扶助費	121,764	114,343	7,421	6.5	10.1	9.6
	公債費	183,848	185,764	△ 1,916	△ 1.0	15.2	15.7
	災害復旧費	9,276	9,536	△ 260	△ 2.7	0.8	0.8
	計	616,198	611,133	5,065	0.8	51.1	51.5
税収関連法定経費	183,456	194,060 (219,070)	△ 10,604 -(219,070)	△ 5.5 -(100.0)	15.2 -	16.3 -	
義 務 的 法 定 経 費 ・ 以 外 収 入 関 連	投資的経費	186,572	174,113	12,459	7.2	15.4	14.7
	うち 公共・直轄	103,189	92,028	11,161	12.1	8.5	7.8
	うち 単独	82,789	79,609	3,180	4.0	6.9	6.7
	その他の経費	220,374	207,894	12,480	6.0	18.3	17.5
	計	406,946	382,007	24,939	6.5	33.7	32.2

※()内は政令市への移譲影響を除く額

- 10 -

令和元年度一般会計 歳出(款別)予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	令和元年度 当初予算	平成30年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比	
					令和元年度	平成30年度
議会費	2,019	2,005	14	0.7	0.2	0.2
知事直轄組織費	3,455	3,218	237	7.4	0.3	0.3
危機管理費	8,559	10,086	△ 1,527	△ 15.1	0.7	0.8
経営管理費	33,688	30,284	3,404	11.2	2.8	2.6
くらし・環境費	13,482	9,057	4,425	48.9	1.1	0.8
文化・観光費	14,471	14,434	37	0.3	1.2	1.2
健康福祉費	237,735	230,734	7,001	3.0	19.7	19.4
経済産業費	74,698	69,680	5,018	7.2	6.2	5.9
交通基盤費	124,797	109,506	15,291	14.0	10.3	9.2
警察費	79,777	80,096	△ 319	△ 0.4	6.6	6.7
教育費	238,486	242,057	△ 3,571	△ 1.5	19.8	20.4
災害対策費	10,446	9,663	783	8.1	0.9	0.8
公債費	183,848	185,764	△ 1,916	△ 1.0	15.2	15.7
諸支出金	180,839	190,316	△ 9,477	△ 5.0	15.0	16.0
予備費	300	300	0	0.0	0.0	0.0
計	1,206,600	1,187,200	19,400	1.6	100.0	100.0

- 11 -

一般会計 歳出決算の推移

(単位:億円・%)

区 分	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
義務的経費	6,205	6,165	6,216	6,191	6,177	6,227	6,299	6,325	6,264	6,353	6,478	6,548	5,967	6,025	6,162
構成比	55.3	54.9	54.9	54.6	51.3	54.0	55.5	55.7	54.1	53.8	53.3	54.5	49.1	51.1	51.1
人件費	3,907	3,923	3,932	3,863	3,765	3,729	3,718	3,683	3,561	3,585	3,631	3,633	3,006	3,005	3,013
構成比	34.9	34.9	34.8	34.0	31.3	32.3	32.8	32.4	30.8	30.4	29.9	30.2	24.7	25.5	25.0
扶助費	564	626	659	686	724	774	810	851	888	929	1,003	1,050	1,101	1,147	1,218
構成比	5.0	5.6	5.8	6.1	6.0	6.7	7.1	7.5	7.7	7.9	8.3	8.7	9.1	9.7	10.1
公債費	1,651	1,579	1,588	1,608	1,678	1,697	1,715	1,714	1,776	1,799	1,812	1,848	1,849	1,842	1,838
構成比	14.7	14.1	14.0	14.2	13.9	14.7	15.1	15.1	15.3	15.2	14.9	15.4	15.2	15.6	15.2
災害復旧費	83	37	37	34	10	27	56	77	39	40	32	17	11	31	93
構成比	0.7	0.3	0.3	0.3	0.1	0.2	0.5	0.7	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.3	0.8
投資的経費	2,278	2,186	2,106	2,025	1,921	1,734	1,628	1,688	1,912	1,705	1,572	1,570	1,729	1,762	1,866
構成比	20.3	19.5	18.6	17.9	16.0	15.1	14.3	14.9	16.5	14.5	13.0	13.1	14.2	14.9	15.4
公共・直轄	1,195	1,114	1,006	897	892	920	903	935	1,024	879	825	840	922	956	1,032
構成比	10.7	9.9	8.9	7.9	7.4	8.0	8.0	8.3	8.9	7.5	6.8	7.0	7.6	8.1	8.5
単独等	1,083	1,072	1,100	1,128	1,029	814	725	753	887	826	747	730	807	806	834
構成比	9.6	9.6	9.7	10.0	8.6	7.1	6.4	6.6	7.7	7.0	6.2	6.1	6.6	6.8	6.9
その他	2,729	2,870	3,002	3,124	3,942	3,580	3,422	3,347	3,398	3,743	4,086	3,901	4,453	4,008	4,038
構成比	24.4	25.6	26.5	27.5	32.7	31.0	30.2	29.4	29.4	31.7	33.7	32.4	36.7	34.0	33.5
計	11,212	11,221	11,324	11,340	12,040	11,541	11,349	11,360	11,574	11,801	12,136	12,019	12,149	11,795	12,066
形式収支 (歳入 - 歳出)	114	121	104	95	106	144	148	168	230	167	137	141	129	130	-
実質収支	57	59	61	57	57	58	56	60	112 (62)	58	57	55	50	50	-

※令和元年度は当初予算

※各年度の決算は、前年度からの繰越を含み、翌年度への繰越を含まない。

※実質収支は、形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額

※平成25年度の実質収支の()書きは、平成26年度予算に計上している寄附金のうち、平成25年度に受け入れた50億円を除いた額

- 12 -

(参考)一般会計 歳出予算(最終)の推移

(単位:億円・%)

区分	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
義務的経費	6,202	6,169	6,259	6,194	6,205	6,261	6,351	6,345	6,285	6,389	6,476	6,562	6,022	6,058	6,162
構成比	55.1	54.6	54.9	54.1	50.3	53.9	55.2	54.2	54.5	53.4	53.3	53.5	49.0	50.4	51.1
人件費	3,914	3,936	3,951	3,881	3,778	3,749	3,734	3,722	3,575	3,604	3,643	3,645	3,024	3,024	3,013
構成比	34.7	34.9	34.7	33.9	30.7	32.3	32.4	31.8	31.0	30.1	30.0	29.7	24.6	25.2	25.0
扶助費	570	637	664	689	730	776	813	854	892	935	1,007	1,054	1,105	1,154	1,218
構成比	5.1	5.6	5.8	6.0	5.9	6.7	7.1	7.3	7.7	7.8	8.3	8.6	9.0	9.6	10.1
公債費	1,654	1,581	1,588	1,609	1,680	1,698	1,716	1,714	1,776	1,800	1,812	1,848	1,849	1,842	1,838
構成比	14.7	14.0	13.9	14.1	13.6	14.6	14.9	14.6	15.4	15.1	14.9	15.1	15.0	15.3	15.2
災害復旧費	64	15	56	15	17	38	88	55	42	50	14	15	44	38	93
構成比	0.6	0.1	0.5	0.1	0.1	0.3	0.8	0.5	0.4	0.4	0.1	0.1	0.4	0.3	0.8
税収関連法定経費	1,129	1,174	1,272	1,186	1,166	1,139	1,135	1,112	1,155	1,284	1,932	1,786	2,145	1,915	1,835
構成比	10.0	10.4	11.1	10.4	9.5	9.8	9.8	9.5	10.0	10.8	15.9	14.6	17.5	15.9	15.2
投資的経費	2,286	2,220	2,112	2,072	2,078	1,713	1,684	1,966	1,791	1,703	1,541	1,740	1,757	1,859	1,866
構成比	20.3	19.6	18.5	18.1	16.9	14.8	14.6	16.8	15.5	14.2	12.7	14.2	14.3	15.5	15.5
公共・直轄	1,197	1,122	992	907	987	983	941	1,196	886	866	800	968	967	1,051	1,032
構成比	10.6	9.9	8.7	7.9	8.0	8.5	8.2	10.2	7.7	7.2	6.6	7.9	7.9	8.8	8.6
単独等	1,089	1,098	1,120	1,165	1,091	730	743	770	905	837	741	772	790	808	834
構成比	9.7	9.7	9.8	10.2	8.9	6.3	6.4	6.6	7.8	7.0	6.1	6.3	6.4	6.7	6.9
その他	1,639	1,738	1,767	1,990	2,873	2,502	2,353	2,289	2,313	2,582	2,202	2,171	2,360	2,177	2,203
構成比	14.6	15.4	15.5	17.4	23.3	21.5	20.4	19.5	20.0	21.6	18.1	17.7	19.2	18.1	18.3
計	11,256	11,301	11,410	11,442	12,322	11,615	11,523	11,712	11,544	11,958	12,151	12,259	12,284	12,009	12,066

※令和元年度は当初予算

平成30年度 特別会計決算の状況

(単位:百万円)

区分	会計の概要	歳入(A)	歳出(B)	差引(A)-(B)	差引の理由
公債管理	県債の償還金・利子の支払、県債管理基金への積立	445,722	445,722	0	—
自動車税等証紙徴収事務	自動車税及び自動車取得税の証紙徴収分の一般会計への振替	4,980	4,980	0	—
県営住宅事業	県営住宅の管理、修繕等	10,682	10,447	235	県営住宅の建替・修繕工事等における執行残及び翌年度繰越による
母子父子寡婦福祉資金	母子家庭等を対象とした生活資金、修学資金等の貸付	652	554	98	資金の借入需要が見込を下回ったことによる
心身障害者扶養共済事業	心身障害者への年金の支給	660	660	0	—
国民健康保険事業	国民健康保険の保健給付に要する費用の市町に対する交付等	333,075	325,888	7,187	保健給付費等交付金等における執行残及び翌年度繰越による
林業改善資金	林業及び木材産業の生産の高度化等を図るための資金の貸付	267	23	244	資金の借入需要が見込を下回ったことによる
沿岸漁業改善資金	沿岸漁業の振興を図るための資金の貸付	249	67	182	資金の借入需要が見込を下回ったことによる
中小企業高度化資金貸付事業等	中小企業の創業や経営基盤強化を支援するための資金の貸付	5,534	5,175	359	貸付金の償還額が見込を上回ったこと及び翌年度繰越による
清水港等港湾整備事業	清水港などの荷役機械・上屋の整備、維持管理	6,010	5,702	308	清水港施設整備費等における執行残及び翌年度繰越による
流域下水道事業	流域下水道の整備、維持管理	4,669	4,332	337	企業会計移行に伴う特例的支出予算及び翌年度繰越による
物品調達事務等	本庁、出先における物品調達事務等	1,398	1,398	0	—
計		813,898	804,948	8,950	

平成30年度 公営事業会計決算の状況(収益的収支)

(単位:百万円)

区分	事業の概要	収益的収支(損益勘定)			内部留保資金
		収入	支出	収支差引	
工業用水道事業	県下10市町の347事業所に工業用水を供給するため、柿田川、富士川、東駿河湾、静清、中遠、西遠、湖西の7事業を実施	4,919	4,497	422	6,207
水道事業	県下10市町に長期的に安定した良質の生活用水を供給するため、駿豆・榛南・遠州の3事業を実施	6,969	5,707	1,262	7,986
地域振興整備事業	工場の再編整備、集団化や優良企業の誘致など地域発展のための工業用地の造成事業を市町の土地利用計画と整合を図りながら実施	3,707	3,159	548	4,892
静岡がんセンター事業	本県がん対策の中核を担う高度がん専門医療機関として病院、疾病管理センター、研究所を運営	35,240	35,360	△ 120	8,227
計		50,835	48,723	2,112	27,312

- 15 -

平成30年度 公営事業会計決算の状況(資本的収支)

(単位:百万円)

区分	事業の概要	資本的収支(資本勘定)				収支差引
		収入	企業債	支出	企業債償還金	
工業用水道事業	県下7工業用水道事業で、送水管布設替工事等を実施(静清等)	1,488	790	3,421	980	△ 1,933
水道事業	県下3水道事業で送水管布設替工事等を実施(榛南、遠州等)	624	410	3,859	1,062	△ 3,235
地域振興整備事業	富士山麓フロンティアパーク 小山の造成工事等を実施	1,667	0	2,830	0	△ 1,163
静岡がんセンター事業	器械備品購入ほか	1,567	1,328	5,624	4,091	△ 4,057
計		5,346	2,528	15,734	6,133	△ 10,388

- 16 -

地方公社の状況① 改革計画への取組

団体名	これまでの成果(～H30)	各公社経営計画等での目標
静岡県 土地開発公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に見合った定員管理に努めており、平成17年度から29年度までに職員12人を削減して11人体制とし、退職者分は嘱託員で対応 ◎ 国、県の用地先行取得業務を確実に受託 ◎ 受託用地事業の拡大については、平成26年度の県との協議により、県予算の許す範囲での対応となり、県事業を継続して受託 県内全市町に対して受託活動を継続実施し、市町事業の受託を拡大 ◎ 点検評価表を県ホームページで公開 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 公共事業の縮減に伴って減少傾向にある事業量に応じた適正な体制整備 (用地取得の専門機関としての機能を維持) ◎ 国、県の用地先行取得事業及び受託用地事業の確実な受託 ◎ 市町への受託先の拡大 (公社活用メリットのPRや支援策の企画提案など積極的な受託活動を通じた事業量の確保) ◎ 関係機関と一体となった効率的な用地取得体制の確立
静岡県 道路公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 毎年度、事業規模に見合った組織編成を行い、効率化を図った。(職員数は22年度の41人から30年度の35人へと6人削減(約15%減)) ◎ 関東圏等での誘客キャンペーン実施、旅行誌への広告掲載、伊豆スカイライン周辺の国道交差点における電光表示板による案内情報の提供、観光・宿泊施設等へのロードマップの配布などにより誘客を図った。また、お客様アンケートに基づき、トイレの改修工事を実施した。 ◎ 毎年度点検評価を実施し、大綱に基づく見直し等について検証を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 採算性を確保し、着実な償還を実施 ◎ 地域の交通の課題を解決するための伊豆中央道改築事業の実施や、標識等の多言語化、施設のバリアフリー化など、伊豆スカイライン及び箱根スカイラインを再整備 ◎ 企画割引の実施や、他の事業者とのイベント協力などにより地域振興に貢献
静岡県 住宅供給公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に見合った定員管理に努め、退職者の不補充等により21年度から29年度までの間に正規職員を9人削減 ◎ 住宅・宅地の新規供給事業等は、役割を終えた清算事業として終了するとともに、重点課題ごとにプロジェクトチームを設置し、経営改善を推進 ◎ 県営住宅及び市町営住宅の管理業務を主要事業として位置づけ、住宅管理サービスの充実と入居者のための生活支援を推進 ◎ 点検評価表を県ホームページで公開 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 公営住宅の管理を継続する一方、住宅や宅地の新規供給事業等については、役割を終えた清算事業として縮小、整理 ◎ 増加が著しい高齢・外国人入居者に対する支援を積極的に推進 ◎ 外部委託を希望する市町の公営住宅管理を新たに受託し、住宅情報の一元管理により県民サービスを向上

地方公社の状況② 決算状況

(単位:百万円)

区 分		静岡県土地開発公社		静岡県道路公社		静岡県住宅供給公社		
		平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	
出資状況	出資団体数	1	1	15	15	4	4	
	出資金額	本県出資額	20	20	7,523	7,523	10	10
		その他団体出資額	-	-	22	22	5	5
		計	20	20	7,545	7,545	15	15
貸借対照表	資産	流動資産	2,890	1,733	4,363	3,616	1,730	1,642
		固定資産	2,220	2,190	34,354	33,678	1,589	1,796
		繰延資産	-	-	5	17	-	-
		小計	5,110	3,923	38,722	37,311	3,319	3,438
	負債	流動負債	22	76	130	105	632	603
		固定負債	2,590	1,384	1,591	1,311	1,293	1,499
		特別法上の引当金等	-	-	23,035	21,098	-	-
		小計	2,612	1,460	24,756	22,514	1,925	2,102
	資本	資本金	20	20	7,545	7,545	15	15
		剰余金	-	-	6,421	6,480	1,379	1,321
法定準備金等		2,478	2,443	-	-	-	-	
小計		2,498	2,463	13,966	14,025	1,394	1,336	
計	5,110	3,923	38,722	36,539	3,319	3,438		
損益計算書	経常損益	営業収益 (a)	1,323	1,761	2,402	2,299	2,449	2,923
		営業費用 (b)	1,346	1,813	2,538	2,475	2,411	2,860
		営業利益 (c=a-b)	△ 23	△ 52	△ 136	△ 176	38	63
		営業外収益 (d)	28	29	89	87	25	17
		営業外費用 (e)	1	-	12	15	5	6
		経常利益 (f=c+d-e)	4	△ 23	△ 59	△ 104	58	74
	特別利益 (g)	-	-	-	-	0	54	
	特別損失 (h)	-	-	-	-	0	0	
当期損益 (i=f+g-h)	4	△ 23	△ 59	△ 104	58	128		

外郭団体の状況① 経営状況

平成31年3月末現在

○全団体の状況

(単位: %、百万円)

形態	所管	出資割合50%以上				出資割合50%未満			
		出資法人	出資金額 (出資割合)	平成30年度 経常収支	資本又は 正味財産	出資法人	出資金額 (出資割合)	平成30年度 経常収支	資本又は 正味財産
財団・ 社団 法人	知事部局	(公財) 静岡県産業振興財団	7,123 (100.0)	▲ 32.1	7,994	(公社) 静岡県農業振興基金協会	2,000 (49.9)	0.6	2,114
		(一財) 静岡県労働福祉事業協会	2,194 (100.0)	▲ 29.0	1,744	(公財) 静岡県漁業振興基金	1,575 (48.0)	▲ 13.3	3,775
		(公財) 静岡県舞台芸術センター	1,320 (100.0)	27.6	1,531	(公社) 静岡県畜産協会	195 (37.8)	4.7	235
		(公財) 静岡県文化財団	900 (89.8)	▲ 7.0	1,384	(公財) 静岡県腎臓バンク	150 (49.0)	0.4	326
		(公財) 静岡県国際交流協会	804 (86.7)	▲ 1.7	972	(公財) 静岡県コンテナ輸送振興協会	35 (33.3)	0.1	109
		(公財) 世界緑茶協会	393 (100.0)	3.4	400	(公財) 静岡県生活衛生営業指導センター	3 (45.5)	▲ 1.1	136
		(公財) しずおか健康長寿財団	245 (77.0)	▲ 2.6	357	(公財) 浜名湖総合環境財団	50 (24.3)	▲ 23.7	546
		(公財) 静岡県障害者スポーツ協会	76 (75.4)	1.8	101				
		(公社) 静岡県農業振興公社	50 (50.0)	▲ 1.3	55				
		(一財) ふじのくに医療城下町推進機構	100 (100.0)	10.1	104				
		(一財) アグリオープンイノベーション機構	3 (100.0)	0.5	4				
		公安委員会	(公財) 静岡県暴力追放運動推進センター	660 (81.0)	▲ 2.6	925			
教育委員会					(一財) 静岡県青少年会館	100 (40.0)	▲ 0.4	274	
地方公社		静岡県道路公社	7,523 (99.7)	▲ 59.3	13,966				
		静岡県土地開発公社	20 (100.0)	4.2	2,498				
		静岡県住宅供給公社	10 (66.7)	58.1	1,394				
会社法人					天竜浜名湖鉄道(株)	39.7 (39.7)	▲ 223.8	182	
					(株)エイ・ピー・アイ	19.5 (39.0)	▲ 0.6	206	

※「外郭団体」とは、「県の出資割合が25%以上の法人」又は「県が出資し、職員を派遣をしている法人」

<参考>

形態	地方独立行政法人	出資金額 (出資割合)	平成30年度 経常収支	資本又は 正味財産
地方独立 行政法人	静岡県公立大学法人	22,361(100.0)	31.8	20,052
	公立大学法人静岡文化芸術大学	16,810(100.0)	11.0	13,471
	静岡県立病院機構	6,823 (100.0)	993.0	15,684

外郭団体の状況② 赤字法人の状況

○平成30年度経常収支赤字法人

(単位:千円)

形態	出資法人	事業の概要	H30経常収支	公益目的事業収支 (公益法人のみ)	経常収支が赤字の理由	今後の収支改善の見通し
公益法人	(公財) 静岡県産業振興財団	中小企業等の産業創出支援、経営基盤の強化・科学技術研究開発の促進・新産業集積クラスターの推進	▲ 32,121	▲ 22,941	基本財産運用収入の減等	管理費(人件費・事務費)の節減等
	(公財) 静岡県文化財団	各種文化芸術の振興及び国内外との交流促進による、個性豊かな県民文化の振興	▲ 7,046	▲ 19,213	特定資金積立金を財源とした文化プログラム関連事業実施のため	特定資金積立金等を計画的にかつ有効に活用し、公益目的事業を実施していく
	(公財) 静岡県生活衛生営業指導センター	生活衛生関係営業者に対する指導	▲ 1,076	▲ 505	研修事業や後継者育成支援事業といった収益の見込めない事業実施及び、高圧受変電設備改修工事実施のため	事業の見直しによる支出削減及び賛助会員の募集による収入増を図る
	(公財) しずおか健康長寿財団	高齢者をはじめとする県民の生きがいづくりと健康づくりの推進	▲ 2,619	▲ 2,328	専門職の職員休職による時間外勤務の増加、代替職員の手当など、人件費増加のため	一時的な要因のため、令和元年度は収支均衡の見込み
	(公財) 静岡県国際交流協会	国際理解・交流及び多文化共生の推進	▲ 1,682	▲ 1,667	運用益の減少、協会の組織体制強化を考慮した若手職員のプロパー化による人件費増、協会創立30周年記念事業による事業費の増のため	各種受託事業で収入を確保し、効率的な事業執行に努める。また、外国語講座等の収益事業を拡充し、収支改善を目指す。
	(公財) 浜名湖総合環境財団	浜名湖における船舶等の航行安全の確保、公共係留施設の管理運営	▲ 23,682	▲ 23,682	過去に実施した大規模修繕等により減価償却費が増加したため	減価償却費の減少に伴い収支改善見込。今後は計画的な施設整備により、減価償却費による過度な赤字発生を防止していく
	(公社) 静岡県農業振興公社	・農地中間管理事業 ・青年農業者等育成事業	▲ 1,311	▲ 1,439	農地の売買実績がH29年度を下回り手数料収入等が大きく減少、さらに基本財産の運用益も低く、経常損益が赤字となった。	農地売買実績は、H30年度を上回る見込み。また、法改正により農地中間管理事業に移管する農地があり、手数料収益の増加により、黒字見込み。
	(公財) 静岡県漁業振興基金	漁業振興及び栽培漁業推進	▲ 13,289	▲ 13,018	債券運用収入が減少して公益事業の支出を下回る状態の中、さらに筏3台の修繕費用負担が発生したため	今後は計画どおりに債券運用を実施するとともに、事業費を見直し、特に漁業振興基金事業の助成費の削減を計画的に実施し、改善を図る
	(一財) 静岡県労働福祉事業協会	労働者福祉施設の管理運営	▲ 62,082	-	「おとり荘」における宿泊者が伸びなかったため	営業活動の強化、積極的な情報の発信、おもてなしサービスの向上、地域との連携・貢献により利用者増加に向けた取組による宿泊者数の増加対策を実施
	(公財) 静岡県暴力追放運動推進センター	暴力団犯罪被害者支援事業、少年や暴力団離脱者に対する保護救済事業、民間団体等が行う暴力団排除活動の支援事業及び不当要求防止責任者に対する講習事業	▲ 2,630	▲ 2,273	早期償還等による基本財産利息運用収益の減少、不当要求防止責任者講習の受講者増加による同講習にかかる経費が増加したため	機会を捉えた積極的広報により協賛会員の増加を図るとともに、不当要求防止責任者講習の内容等を見直すなど、経費削減による収支バランスの均衡を図る
(一財) 静岡県青少年会館	青少年会館の運営	▲ 4,497	-	基本財産運用収入及び会議室等貸付収入の減	青少年団体活動を活発に行い、青少年会館の利用率向上を図る。	
公社	静岡県道路公社	有料道路事業、一般自動車道事業及び高架下施設の管理・運営等	▲ 59,274	-	東京五輪自転車競技の伊豆開催に向け、H27～R元年度において、先行、集中的に施設改修を行う「新ブランドデザイン」の実施に伴い支出が増加したため	道路収入については、H30年度実績がほぼ前年並み水準を維持しており、集中投資が完了するR2年度以降は、単年度黒字を見込む。
会社法人	天竜浜名湖鉄道(株)	地方鉄道路線(天竜浜名湖線)の経営	▲ 223,833	-	老朽化した施設設備の修繕費や軽油単価の高騰による内燃動力費の増加のため	本年4月にスタートした新たな「天竜浜名湖鉄道経営計画2019～2023」に基づき計画的に支援していくため、支援額を含めての収支は均衡の見込み
	(株)エイ・ピー・アイ	印刷業及び製本業務 ・梱包業及び発送業務 ・諸用紙等の保管及び発送業務 ・情報処理業務	▲ 567	-	親会社に対する売上が大幅な減額となったため	親会社及びグループ企業への売上げ回復が見込まれるとともに、原価率の低減、経費の削減に努め、黒字の確保を目指す

今後の財政運営①

1 収支均衡に向けた取組

平成30年度からスタートした、本県の総合計画「静岡県の新ビジョン」では将来にわたって安心な財政運営を堅持するため、平成33年度(令和3年度)までに基金を除いたその年度の歳入によってその年度の歳出を補う、収支が均衡した財政運営を目標としている。

区分	実績(H28年度)	目標(2021年度)
収支均衡	財源不足額 △205億円 (財政調整用基金による補填額)	財源不足額 0 (財政調整用基金による補填額)
通常債残高	1兆6,100億円	上限1兆6,000億円程度
実質公債費比率	13.5%	18%未満
将来負担比率	228.0%	400%未満

2 試算の変更点(平成31年度当初予算編成時)

平成30年度当初予算編成時に公表した「今後の財政運営～収支均衡の姿を目指して～」における試算の前提を基本として、令和元年度当初予算を反映

区分	計画策定時(H30年度当初予算編成時)	今回(R元年度当初予算編成時)
歳出	人件費	・H29年度給与改定 ・臨時・非常勤制度改正(R2～)
	消費税使途	・新しい経済政策パッケージなど、関連事業を個別積上げ
	投資的経費	・現時点で見込まれる施設整備 ・防災・減災、国土強靱化に関する国の3カ年緊急対策(～R2)
歳入	県税収入(経済成長率) ・内閣府試算(H30.1月公表)	・内閣府試算(H31.1月公表)

- 21 -

今後の財政運営②

3 試算結果

令和元年度当初予算策定時

<予算編成時>

(単位:億円)

区分	平成29年度 年間	平成30年度 年間	令和元年度	2020年度	2021年度	
歳出	義務的経費	6,022	6,057	6,162	6,292	6,314
	通常分	6,022	6,057	6,130	6,220	6,239
	社会保障の充実分	—	—	32	72	75
	税収関連法定経費	2,145	1,916	1,835	2,293	2,532
	通常分	2,145	1,916	1,819	1,972	2,033
	消費税率引上げ分	—	—	16	321	499
	投資的経費・その他の経費	4,117	4,036	4,069	4,064	3,837
	うち歳出の見直し額	—	—	—	△40	△30
	計	12,284	12,009	12,066	12,649	12,683
	新ビジョンの主な事業費	—	3,330	3,390	3,440	3,250
歳入	県税・交付税等	9,204	9,217	8,990	9,573	9,897
	通常分	9,204	9,217	8,936	9,104	9,167
	消費税率引上げ分	—	—	54	469	730
	社会保障の充実分	—	—	32	72	75
	税収関連法定経費分	—	—	16	321	499
	社会保障の安定化分	—	—	6	76	156
	県債	1,079	926	893	949	839
	国庫支出金等	1,866	1,796	1,953	1,940	1,845
	計	12,149	11,939	11,836	12,462	12,581
	差引	△135	△70	△230	△187	△102

<執行段階>

歳入の確保	—	—	80	80	80
効率的な予算執行等	—	40	60	60	60

<年間>

財源不足額 (財政調整用の基金による補填額)	△135	△30	△90	△47	(38)
翌年度以降に活用可能な基金残高	531	644	554	507	545

- 22 -

4 新ビジョンの目標値の推移

区 分	目標値	平成30年度	令和元年度	2020年度	2021年度
収支均衡	[財源不足額] (財政調整用の基金による補填額) 0	["] △30億円	["] △90億円	["] △47億円	["] (38億円)
県債残高 (通常債)※	1兆6,000億円程度を上限	1兆5,875億円	1兆5,633億円	1兆5,464億円	1兆5,185億円
実質公債費比率	18%未満	13.8%	14.1%	14.5%	14.2%
将来負担比率	400%未満	224.8%	224.2%	216.9%	206.9%

(注) 臨時財政対策債は「実質的な地方交付税」とされているため、通常債から除外
 病院債は、県立病院の独立行政法人化に伴う県債であり、償還財源の全てが病院事業により措置されるため、通常債から除外

空白

財政関係指標の推移(普通会計)

(単位:%)

区分	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	
財政力指数	本県	69.6	72.9	76.6	75.6	71.5	67.8	66.7	68.4	69.1	71.0	72.0	72.8	72.5
	全国	46.4	49.7	52.1	51.6	49.0	46.5	45.5	46.4	47.3	49.1	50.5	51.6	(集計中)
	順位	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	(集計中)
経常収支比率	本県	90.8	93.6	92.5	93.3	89.7	94.9	94.2	92.9	91.0	94.9	97.6	94.5	95.2
	全国	93.6	96.7	95.3	95.2	90.9	93.9	94.1	93.1	93.0	93.4	95.4	95.2	(集計中)
	順位	4	5	7	9	17	32	25	22	6	27	37	16	(集計中)
実質赤字比率	本県	-	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)
	全国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	順位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	本県	-	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)
	全国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	順位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実質公債費比率	本県	12.4	11.6	11.7	13.1	14.3	15.3	15.0	14.9	14.5	14.0	13.5	13.4	13.4
	全国	14.4	14.0	13.9	14.4	14.8	15.1	14.8	14.6	13.1	12.7	12.7	12.2	(集計中)
	順位	10	9	10	16	20	24	25	27	26	26	27	34	(集計中)
将来負担比率	本県	-	247.3	248.1	262.6	251.8	248.2	241.1	239.1	229.8	223.1	228.0	238.4	240.2
	全国	-	235.1	234.8	235.6	218.7	214.9	208.4	200.9	187.0	175.6	186.2	188.5	(集計中)
	順位	-	30	28	32	36	35	35	37	36	36	38	40	(集計中)

※順位は、財政の健全性の高い都道府県から1位とした。

※指数及び比率の全国の数値は、総務省算定値

財政関係指標の推移(普通会計)

【財政力指数】

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額(注1)を基準財政需要額(注2)で除して得た数値の過去3年間の平均値

(注1) 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法により算定した額

(注2) 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を一定の方法により合理的に算定した額

【経常収支比率】

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、経常的経費に充当された一般財源の経常一般財源総額に対する割合

【実質赤字比率】

地方公共団体の財政運営の悪化度合いを示す指標で、当該地方公共団体の一般会計等(注3)を対象とした実質赤字額(注4)の標準財政規模に対する割合

(注3) 一般会計及び特別会計のうち普通会計に相当する会計

(注4) 実質赤字の額 = 繰上充用額 + (支払繰延額 + 事業繰越額)

【連結実質赤字比率】

地方公共団体全体としての財政運営の悪化度合いを示す指標で、すべての会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合

【実質公債費比率】

地方公共団体における公債費による財政負担の度合いを客観的に示す指標で、地方債元利償還金相当額(注5)に充当された一般財源の標準財政規模等に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)の過去3年間の平均値

(注5) 地方債元利償還金に公営企業の元利償還金への一般会計からの繰出金等を加えた額

【将来負担比率】

地方公共団体の一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を表す指標で、地方債残高や、将来の公営企業への繰出見込額、退職手当の支給予定額、

第3セクターへの損失補償額等の合算額の標準財政規模等に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)

財政関係指標の推移(普通会計)

(単位:%)

区分		平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
自主財源比率	本県	50.7	50.6	51.0	53.0	57.3	55.9	56.2	55.4
	全国	49.4	50.9	51.1	53.5	55.9	53.6	45.4	(集計中)
	順位	10	10	10	10	7	7	8	(集計中)
地方税比率	本県	38.0	38.7	39.1	41.7	47.3	47.0	47.5	48.3
	全国	30.2	31.6	32.6	34.4	38.7	39.2	31.7	(集計中)
	順位	5	6	6	6	5	6	7	(集計中)
法人税比率	本県	8.1	8.4	9.0	10.7	11.0	11.9	11.8	13.2
	全国	5.8	6.3	6.8	7.7	8.4	9.3	7.1	(集計中)
	順位	5	5	5	5	5	5	5	(集計中)

【自主財源比率】

地方財政の自主性がどの程度発揮できるかを示す指標で、県が自主的に確保できる収入の歳入全体に対する割合

[地方税+分担金及び負担金+使用料及び手数料+財産収入+寄附金+繰入金+純繰越金(前年度実質収支)+諸収入]÷歳入合計

【地方税比率】

地方税収入の歳入全体に対する割合

【法人税比率】

地方税のうち法人二税(法人県民税・法人事業税)収入の歳入全体に対する割合

財務諸表① 一般会計等財務諸表の概要

29年度の財政運営の特徴

- ① 政令市への教職員給与負担の移譲
平成29年度から、政令市へ教職員給与が移譲されたことに伴い、県が支出する人件費が減少する一方で、その財源として個人住民税所得割の2%を、県民税所得割交付金として交付しました。
- ② 静岡県の新ビジョンの推進
平成30年度からスタートする新ビジョン(新しい総合計画)を推進するため、景気回復に伴う県税の増収分などを活用し、ふじのくにづくり推進基金に200億円を積み立てました。

一般会計等財務諸表

貸借対照表	<p>【純資産】 +203億円 【資産】 +98億円 ●「基金」の増加 +452億円 ●有形固定資産の減少 △324億円 (内訳) 事業用資産 △87億円 インフラ資産 △247億円</p> <p>【負債】 △105億円 ●「地方債」の増加 +616億円 (内訳) 臨時財政対策債 +614億円 その他の地方債 +2億円 ●「退職手当引当金」の減少 △735億円</p>	<p>○前年度からの増減 ・資産は、有形固定資産が減少した一方、ふじのくにづくり推進基金の積立て等により基金が増加したことにより、98億円増加しました。 ・負債は、臨時財政対策債の発行に伴い、地方債残高が増加した一方、教職員給与の政令市移譲により退職手当引当金が減少したため、105億円減少しました。</p> <p>○貸借対照表から読み取れる課題 ・教職員給与の政令市移譲、ふじのくにづくり推進基金への積立てにより、一時的に純資産が増加したものの、固定資産の減少と、臨時財政対策債の増加による負債の増加には歯止めがかからず、純資産の減少が見込まれます。</p>
行政コスト計算書	<p>【純行政コスト】 △869億円 【費用】 △339億円 ●「業務費用」の減少 △784億円 (内訳) 人件費 △703億円 うち 政令市移譲分 △629億円 ●「移転費用」の増加 +423億円 (内訳) 補助金等 +416億円</p> <p>【収益】 +530億円 ●「臨時利益」の増加 +590億円 (内訳) 退職手当引当金繰入減少分 +591億円</p>	<p>○前年度からの増減 ・教職員給与の政令市移譲に伴い、県民税所得割交付金等の移転費用が増加した一方、人件費が大幅に減少し、費用が339億円減少しました。 ・また、教職員給与の政令市移譲に伴う、退職手当引当金の繰入減少額を臨時利益に計上したため、収益が530億円増加しました。</p>

(注) 貸借対照表に計上される資産は県所有分のみであり、国土交通省名義の河川や農地・林道・治山施設等は市町や土地改良区に譲与されるため、計上されない一方で、これらの整備に活用した県債は負債に全て計上されています。これも資産と負債のバランスを崩し、純資産の減少の構造的要因となっています。

財務諸表② 貸借対照表

貸借対照表では、主に県が保有している「資産」と、将来世代が負担する「負債」の状況が確認できます。

＜貸借対照表＞

(単位: 億円)

資産の部	29年度	28年度	増減	負債及び純資産の部	29年度	28年度	増減
	【資産の部】					【負債の部】	
固定資産	35,172	35,198	△ 26	固定負債	33,544	33,740	△ 196
有形固定資産	28,344	28,668	△ 324	地方債	31,078	30,538	540
事業用資産	8,680	8,767	△ 87	(うち政令市教職員分)	11,998	11,410	588
インフラ資産	19,487	19,734	△ 247	退職手当引当金	2,385	3,120	△ 735
物品	177	167	10	(うち政令市教職員分)	0	591	△ 591
無形固定資産	8	8	0	その他	81	82	△ 1
ソフトウェア	6	6	0	流動負債	1,559	1,468	91
その他	2	2	0	1年内償還予定地方債	1,275	1,199	76
投資その他の資産	6,820	6,522	298	(うち臨時財政対策債)	141	115	26
投資及び出資金	1,365	1,366	△ 1	賞与等引当金	209	205	4
基金	4,938	4,650	288	その他	75	64	11
その他	517	506	11	負債合計	35,103	35,208	△ 105
流動資産	1,336	1,212	124	【純資産の部】			
現金預金	226	206	20	固定資産等形成分	36,219	36,140	79
未収金	64	65	△ 1	余剰分(不足分)	△ 34,814	△ 34,938	124
基金	1,011	847	164	純資産合計	1,405	1,202	203
その他	35	94	△ 59	負債・純資産合計	36,508	36,410	98
資産合計	36,508	36,410	98				

財務諸表③ 行政コスト計算書

行政コスト計算書では、主に県が行政サービスを提供するために必要な「経常費用」と、サービスの対価として受益者が負担する使用料などの「経常収益」、またその差額に臨時損益を加えた「純行政コスト」が確認できます。

＜行政コスト計算書＞

(単位: 億円、%)

科目名	29年度	構成比	28年度	増減	科目名	29年度	構成比	28年度	増減
	【経常費用】							【経常収益】	
業務費用	5,247	54.9	6,031	△ 784	使用料及び手数料	210	44.5	252	△ 42
人件費	2,912	30.5	3,615	△ 703	その他	262	55.5	280	△ 18
(うち政令市教職員分)	0	0.0	629	△ 629					
職員給与費	2,554	26.8	3,052	△ 498					
賞与等引当金繰入額	209	2.2	205	4					
退職手当引当金繰入額	98	1.0	285	△ 187					
その他	51	0.5	73	△ 22					
物件費等	1,935	20.2	1,935	0					
物件費	628	6.6	651	△ 23					
維持補修費	510	5.3	480	30					
減価償却費	797	8.3	804	△ 7					
その他の業務費用	400	4.2	481	△ 81					
支払利息	341	3.6	374	△ 33					
徴収不能引当金繰入額	8	0.1	9	△ 1					
その他	51	0.5	98	△ 47					
【移転費用】									
補助金等	4,303	45.1	3,880	423					
(うち政令市教職員分)	4,093	42.9	3,677	416					
社会保障給付	285	3.0	0	285					
社会保険給付	176	1.8	173	3					
他会計への繰出金	14	0.2	14	0					
その他	20	0.2	16	4					
経常費用 A	9,550	100.0	9,911	△ 361	経常収益 B	472	100.0	532	△ 60
臨時損失					純経常行政コスト A-B	9,078	-	9,379	△ 301
資産売却却損	33	82.5	19	14	臨時利益				
損失補償等引当金繰入額	7	17.5	△ 1	8	資産売却益	5	0.8	6	△ 1
臨時損失 C	40	100.0	18	22	退職手当引当金繰入減少分	591	99.2	0	591
費用計 E = A + C	9,590		9,929	△ 339	臨時利益 D	596	100.0	6	590
					収益計 F = B + D	1,068		538	530
					純行政コスト E - F	8,522	-	9,391	△ 869

財務諸表④ 純資産変動計算書、資金収支計算書

純資産変動計算書では、これまでの世代が形成してきた資産が、どれだけ増減したかが確認できます。

資金収支計算書では、1年間の現金の動きと年度末の残高（期末資金残高）を確認できます。

＜純資産変動計算書＞

(単位：億円)

科目名	金額
前年度末純資産残高 A	1,202
純行政コスト	△ 8,522
財源	8,809
税収等	7,649
国県等補助金	1,160
その他	△ 84
本年度純資産変動額 B	203
本年度末純資産残高 A + B	1,405

プラスの場合
将来世代も利用可能な
資産を貯蓄

マイナスの場合
将来世代が利用可能
な資産を現世代が消費

マイナスの場合の最終
的な本年度の純資産の
減額は固定資産等
の内部移動で賄う

人件費・物件
費・補助金支出
などの支出と、県
税・地方交付税
などの収入による
収支を計上

基金や公共事業
などの収支を計上

地方債の発行や
償還などによる収
支を計上

＜資金収支計算書＞

(単位：億円)

科目名	金額
I 業務活動収支 B - A	402
1 業務支出 A	8,880
2 業務収入 B	9,282
II 投資活動収支 D - C	△ 1,001
1 投資活動支出 C	2,235
2 投資活動収入 D	1,234
III 財務活動収支 F - E	604
1 財務活動支出 E	2,823
2 財務活動収入 F	3,427
本年度資金収支額	5
前年度末資金残高	154
本年度末資金残高 G	159

前年度末歳計外現金残高	53
本年度歳計外現金増減額	14
本年度末歳計外現金残高 H	67
本年度末現金預金残高 G + H	126

財務諸表⑤ 指標で見た静岡県の財務状況

指標	29年度	28年度	指標の説明
県民 1 人当たり資産額	100万円	99万円	● 県がこれまでに整備した土地・建物や、積み立てた基金、保有する現金などの全ての資産について、県民 1 人当たりではどのくらい保有しているのかを表しています。 【算式】 資産総額 / 住民基本台帳人口 (年度末)
県民 1 人当たり負債額	96万円	96万円	● 県債などの負債が、県民 1 人当たりではどのくらいなのかを表しています。 ● 県債は地方公共団体が、公共資産（道路、建物等）を整備する際に、世代間の負担の平準化等を図るために発行するものです。 【算式】 負債総額 / 住民基本台帳人口 (年度末)
県民 1 人当たり 純行政コスト	23万円	26万円	● 県が資産形成に結びつかない行政サービスの提供に当たり、県民 1 人当たりではどのくらいのコストが必要かを表しています。 【算式】 純行政コスト / 住民基本台帳人口 (年度末)
社会資本等形成の 将来世代負担比率	71.3%	70.5%	● 土地・建物などの公共資産を形成するために、県債など将来の負担が必要となる負債をどの程度活用したかを表しています。 【算式】 地方債（臨時財政対策債除く） + 未払金 / 有形・無形固定資産合計
有形固定資産 減価償却比率 (資産老朽化比率)	68.8%	68.0%	● 有形固定資産のうち、償却資産の取得額に対する減価償却累計額の割合です。この数値が大きいと所有している資産の老朽化が進んでいることを意味します。 【算式】 減価償却累計額 / 有形固定資産（償却資産のみ） + 減価償却累計額

財務諸表⑥ 全体

全体財務諸表は、一般会計等と公営企業会計を対象として作成しています。

資産の部	金額	負債の部	金額
固定資産	37,869	固定負債	34,738
有形固定資産	31,209	地方債等	31,969
事業用資産	8,943	退職手当引当金	2,420
インフラ資産	21,864	その他	349
物品	402	流動負債	1,729
無形固定資産	29	1年内償還予定地方債等	1,371
投資その他の資産	6,631	賞与等引当金	217
流動資産	1,799	その他	141
現金預金	581	負債合計	36,467
未収金	119	純資産の部	金額
基金	1,010	固定資産等形成分	38,916
その他	89	余剰分(不足分)	△ 35,715
		純資産合計	3,201
資産合計	39,668	負債及び純資産合計	39,668

科目名	金額
業務費用	5,753
人件費	3,049
物件費等	2,268
その他の業務費用	436
移転費用	4,239
補助金等	4,030
社会保障給付	176
その他	33
経常費用 A	9,992
使用料及び手数料	595
その他	297
経常収益 B	892
純経常行政コスト C = A - B	9,100
資産除売却損	37
損失補償等引当金繰入額	7
その他	1
臨時損失 D	45
資産売却益	5
その他	593
臨時利益 E	598
純行政コスト C + D - E	8,547

科目名	金額
前年度末純資産残高	2,977
本年度純資産変動額	224
本年度差額	300
固定資産等の外部変動額	△ 76
本年度末純資産残高	3,201

科目名	金額
業務活動収支	528
投資活動収支	△ 1,072
財務活動収支	551
本年度資金収支額	7
前年度末資金残高	507
本年度末資金残高	514
本年度末歳計外現金残高	67
本年度末現金預金残高	581

財務諸表⑦ 連結財務諸表

連結財務諸表は、一般会計等、公営企業会計、公社・県が25%以上出資している法人等を連結対象として作成しています。

資産の部	金額	負債の部	金額
固定資産	38,646	固定負債	35,581
有形固定資産	32,621	地方債等	32,189
事業用資産	10,069	退職手当引当金	2,566
インフラ資産	22,035	その他	826
物品	517	流動負債	1,839
無形固定資産	302	1年内償還予定地方債等	1,394
投資その他の資産	5,723	賞与等引当金	234
流動資産	2,115	その他	211
現金預金	788	負債合計	37,420
未収金	208	純資産の部	金額
基金	1,010	固定資産等形成分	39,692
その他	109	余剰分(不足分)	△ 36,362
		他団体出資等分	11
資産合計	40,761	純資産合計	3,341
		負債及び純資産合計	40,761

科目名	金額
業務費用	6,345
人件費	3,343
物件費等	2,561
その他	441
移転費用	4,118
補助金等	3,891
社会保障給付	176
その他	51
経常費用 A	10,463
使用料及び手数料	631
その他	671
経常収益 B	1,302
純経常行政コスト C = A - B	9,161
資産除売却損	39
損失補償等引当金繰入額	7
その他	9
臨時損失 D	55
資産売却益	5
その他	602
臨時利益 E	607
純行政コスト C + D - E	8,609

科目名	金額
前年度末純資産残高	3,140
本年度純資産変動額	201
本年度差額	315
固定資産等の外部変動額	△ 114
本年度末純資産残高	3,341

科目名	金額
業務活動収支	598
投資活動収支	△ 1,109
財務活動収支	500
本年度資金収支額	△ 11
前年度末資金残高	732
本年度末資金残高	721
本年度末歳計外現金残高	67
本年度末現金預金残高	788

県債残高の推移(一般会計、特別会計及び企業会計)

(単位:億円)

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一般会計(A)	21,419	21,505	21,732	22,346	23,782	24,685	25,317	26,048	26,650	27,091	27,099	27,082	27,353	27,459	27,633
通常債	19,296	19,045	18,994	19,272	19,610	19,100	18,643	18,248	17,741	17,182	16,598	16,100	15,918	15,667	15,633
通常債以外	2,123	2,460	2,738	3,074	4,172	5,585	6,674	7,800	8,909	9,909	10,501	10,982	11,435	11,792	12,000
特別会計(B)	1,373	1,282	1,259	1,224	1,153	1,124	1,074	1,059	970	946	903	776	690	674	613
県営住宅事業	281	262	247	242	220	213	199	195	193	192	203	198	198	198	215
母子父子寡婦福祉資金	20	21	21	22	23	25	28	29	30	32	33	34	35	36	36
就農支援資金	4	6	5	6	8	9	10	10	12	12	10	-	-	-	-
中小企業高度化資金貸付事業等	307	254	309	287	274	260	236	220	194	178	167	165	86	86	85
清水港等港湾整備事業	361	347	294	289	262	260	251	263	263	258	256	271	272	267	277
流域下水道事業	392	385	376	371	361	357	350	342	278	274	234	108	99	87	-
林業改善	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県営林事業	8	7	7	7	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
企業会計(C)	1,217	1,235	1,202	1,218	851	822	794	763	733	700	696	662	617	581	649
県立病院事業	256	327	347	379	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
がんセンター事業	519	487	452	443	469	466	457	445	432	416	428	412	381	354	335
工業用水道事業	172	165	157	149	141	133	125	117	111	106	99	94	90	88	100
水道事業	254	256	246	247	241	223	212	201	190	178	169	156	146	139	135
地域振興整備事業	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流域下水道事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79
計(A+B+C)	24,009	24,022	24,193	24,788	25,786	26,631	27,185	27,870	28,353	28,737	28,698	28,520	28,660	28,714	28,895

※県債残高の平成30年度以前は決算、令和元年度は当初予算
 ※通常債とは、臨時財政対策債、NTT無利子貸付金及び病院債を除いた県債
 ※平成16年度より県営住宅事業特別会計を設置
 ※県立病院事業会計は平成21年4月1日の地方独立行政法人化に伴い廃止。残高は一般会計に計上
 ※就農支援資金(平成22年度までは農業改良資金)は平成28年3月31日で廃止。残高は一般会計に計上
 ※流域下水道事業は平成31年度から企業会計に移行

県民一人あたり県債残高(普通会計)

(単位:千円)

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
本県	583.2	583.7	590.7	606.5	635.1	660.9	679.7	702.0	705.1	720.0	723.5	725.0	733.2
全国平均	622.2	622.4	626.4	631.3	651.6	675.1	683.0	696.6	698.6	698.6	695.1	692.9	688.8
順位	15	15	15	16	16	16	15	14	12	15	13	13	13

※順位は47都道府県のうち残高が少ない方から1位とした。

財政課所管基金の年度末残高の推移

(単位:億円)

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
財政調整基金	116	106	32	88	88	89	89	89	89	89	89	89	89	89	69
県債管理基金	2,124	2,321	2,551	2,630	2,423	2,897	3,319	3,670	3,863	4,420	4,587	4,766	5,098	5,460	5,552
うち一般会計分	454	462	421	454	331	520	558	553	481	742	725	549	426	489	249
庁舎建設基金	3	3	3	3	3	3	3	3	3	59	59	56	56	56	56
土地開発基金	78	70	61	57	57	57	57	57	57	0	-	-	-	-	-
大規模地震災害対策基金	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
合計	2,340	2,519	2,666	2,797	2,590	3,065	3,487	3,838	4,031	4,587	4,754	4,930	5,262	5,624	5,696
うち一般会計分	670	660	536	621	498	688	726	721	649	909	892	713	590	653	393

※残高の平成30年度以前は決算、令和元年度は当初予算

※大規模地震による災害が発生した場合、災害復旧等に要する経費として、各基金より大規模地震災害対策基金に繰入れることが可能であることを条例において規定

※土地開発基金は、平成27年3月31日をもって廃止し、基金残額のうち現金分56億円を庁舎建設基金に積立て、土地分1億円は管財課に所管替え

減債基金への積立ての状況

積立ルール

3年据え置き後、県債発行額の3.7%(27分の1)を毎年積み立て

(単位:億円)

区 分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
満期一括分残高(実償還ベース)	23,603	24,205	27,275	28,519	27,251	28,245	28,693	29,106	29,555	29,089
公募公債	18,474	19,883	22,583	24,289	23,800	24,400	24,640	24,840	25,638	25,439
銀行等引受債	5,129	4,322	4,692	4,230	3,451	3,845	4,053	4,266	3,917	3,650
積立残高	2,372	2,754	3,114	3,380	3,673	3,858	4,209	4,635	4,930	5,267

※ H30年度までは決算、R元年度は当初予算

- 37 -

プライマリーバランスの推移

○臨時財政対策債は、地方交付税の振替であるため、一般財源として算定

(単位:億円)

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳入 A	12,146	11,685	11,498	11,528	11,804	11,967	12,273	12,160	12,278	11,925
県債	2,340	2,197	1,952	2,051	1,989	1,859	1,456	1,472	1,799	1,649
通常分 B	1,531	679	731	792	705	648	618	722	1,056	898
臨時財政対策債	809	1,518	1,221	1,259	1,284	1,211	838	750	743	751
財源不足額 C	156	30	40	35	101	40	18	205	151	40
差引 D(A-B-C)	10,459	10,976	10,727	10,701	10,998	11,279	11,637	11,233	11,071	10,987
歳出 E	12,040	11,541	11,349	11,360	11,574	11,801	12,136	12,019	12,149	11,795
公債費 F	1,678	1,697	1,715	1,714	1,776	1,799	1,812	1,848	1,849	1,842
差引 G(E-F)	10,362	9,844	9,634	9,646	9,798	10,002	10,324	10,171	10,300	9,953
プライマリーバランス H(D-G)	97	1,132	1,093	1,055	1,200	1,277	1,313	1,062	771	1,034

注1)各年度数値は決算額

注2)財源不足額は、財政課所管基金の取崩額

- 38 -

静岡県公募公債の発行状況

(単位:億円)

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
個別発行	5年債	400	400	300	900	500	400	600	300	400	400	400	700	600	600
	10年債	900	800	900	1,500	1,100	700	1,000	1,000	1,300	1,200	700	700	900	800
	15年債						100	200	200	300	200	100			
	20年定時								100	300	100	300	400	500	400
	20年債	300	200	400	300	200	300	400	200	100	400	300	400	200	100
	30年債		200	200	200	200	200	100	300	300	300	340	100	200	100
	30年定時														100
	外貨建て 国内債													200	200
	年限未定														300
	合計	1,600	1,600	1,800	2,900	2,000	1,700	2,300	2,100	2,700	2,600	2,140	2,300	2,600	2,600
共同発行	600	600	600	600	800	600	600	600	600	300	300	300	300	300	
総計	2,200	2,200	2,400	3,500	2,800	2,300	2,900	2,700	3,300	2,900	2,440	2,600	2,900	2,900	

※令和元年度は発行計画額

お問い合わせ : 静岡県 知事直轄組織 政策推進局 財政課
 メールアドレス : zaisei@pref.shizuoka.lg.jp
 静岡県IRサイト : <http://www.pref.shizuoka.jp/governor/ir2002/index.html>
 TEL : 054-221-2036 FAX : 054-221-2750